



岩肌に往時がしのばれる現在の三重城

海に延びた城砦「三重城」

北斎の浮世絵「臨海潮声」には、水の都・那覇の面目を躍如とさせる三重城の景観が描かれています。青々と広がる海に突き出した城砦・三重城は、来航者にとって、ニューヨークの自由の女神像さながら、浮島・那覇のランド・マークのように見えたことでしょう。

三重城に到る長堤の手前には、石垣に囲まれた棟の臺が描かれています。俗称「沖の寺」と呼ばれた臨海寺です。

右端に描かれた橋は、東橋、中橋、西橋の3橋あったという臨海橋の西橋でしょうか。明月の夜は、漁師や詩人たちが橋上に集い、こちよい海風にあたりながら酒宴をひらき、風景を賞でたといします。

寺は、明治41年(1908)の築港工事のため、近くの住吉町に移転されています。

北斎が憧れたまち③
ぶらい那覇
三重城



より多くの人命を救うために 損害保険協会が高規格救急車を寄贈

日本損害保険協会は、自動車事故の被害者救済支援の一環として2月2日(水)、市消防本部に、救急救命士が同乗し、事故現場または搬送途中の車内で、重症患者に対して高度な救急救命処置ができる機材、装備を積載した高規格救急車1台を寄贈しました。

受納式で翁長市長は、「市民の生命を預かる立場からも、高規格救急車の寄贈は大変ありがたい。心から感謝いたします」とお礼を述べ、同協会に感謝状を贈りました。



めっちゃ冷たい! 2005年雪のプレゼント

沖縄の子どもたちに本物の雪とふれあい、雪遊びを楽しんでもらおうと、海上自衛隊第五航空群のみなさんから青森県での訓練終了後に持ち帰ってきた雪450kgが、2月9日、金城児童館の子どもたちにプレゼントされました。

早く雪にさわりたいこどもたち。大人たちのあいさつが終わるやいなや、歓声をあげて雪に突進しました。笑顔で小さな雪だるまを作る子や雪玉を当てられ泣く子、ちよつと味見する子など、思い思いに冷たい雪の感触を楽しみました。

第12回あけもどろ総合文化祭「新潟県中越地震義捐金チャリティー」

生活文化部会講演 **さまざまなヒヤミカチ人生談**
NHKアナウンサー 国井雅比古

プロジェクトX人生秘話

日時 3月26日(土) 14時開演
場所 パレット市民劇場
入場料 1000円

お問い合わせ 那覇市文化協会 ☎861-1909

那覇市生涯学習特別記念講演会

日時 3月16日(水) 18時半
場所 那覇市民会館大ホール
講師 養老孟司氏
(東京大学名誉教授、解剖学者)

演題 生涯学習を「バカの壁」で見ると
3月1日(火)から本庁ロビー、3支所(首里・整理券
配布場所 真和志・小禄)、新都心銘刈庁舎、各市立公民館、図書館で配布

お問い合わせ 那覇市教育委員会 社会教育・スポーツ課 ☎853-5775

第30回 **那覇観光キャンペーンレディ募集**

募集期間 3月1日(火)~4月8日(金)

未婚・既婚を問わず大募集

賞金・豪華賞品があります

申込・お問い合わせ
社団法人 那覇市観光協会
那覇市牧志2-1-4 (沖映通り)
☎862-1442

学校や地域の中で、奉仕活動などを続けている児童生徒と青少年の健全育成に貢献した個人・団体を表彰する「平成16年度那覇市善行青少年並びに青少年育成功労者表彰式」が2月4日、パレット市民劇場で行われました。

今年度は、青少年の部で41人、6団体、育成功労者の部で29人、8団体が受賞。石田中学校3年生の山城力さんが「高校生になっても、部活と勉強を両立させ、生徒会活動にも積極的に参加したい」と受賞者を代表してあいさつしました。

地道な活動で明るい社会を 善行青少年と育成功労者を表彰



イチャリバチョーデーを実感 海外の那覇市出身者が沖縄体験

海外移住那覇市出身者受入事業でブラジルから那覇市を訪れていた日桑三世の与儀アラン明夫さんの2か月間の研修が終了しました。研修中は、市民平和交流室での国際交流関係の業務や、公共施設、観光名所の視察などのほか、エイサーや三線などの沖縄文化を体験しました。

アランさんは、「とても充実した2か月だった。祖父の故郷でイチャリバチョーデー(出逢えば兄弟)の精神を実感した」と、笑顔で沖縄を後にしました。

チバリョー沖縄尚学高校ナイン。一投一打に夢のせて。